



2022年8月5日

各位

会社名 日本製紙株式会社
 代表者名 代表取締役社長 野沢 徹
 (コード番号: 3863 東証プライム)
 問合せ先 経 理 部 長 的場 宏充
 (電話番号03-6665-1012)

**営業外収益の計上、繰延税金資産の取崩し
 並びに2023年3月期の業績予想及び配当予想に関するお知らせ**

2023年3月期第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)において、営業外収益(為替差益)を計上するとともに、繰延税金資産の取崩しを行いましたので、お知らせいたします。

また、2022年5月13日に公表いたしました「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想及び配当予想について、あわせてお知らせいたします。

記

1. 営業外収益(為替差益)の計上

為替相場の変動により、為替差益3,344百万円を営業外収益に計上いたしました。

これは主に在外子会社における外貨建借入金の評価替えによるものであり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

2. 繰延税金資産の取崩し

将来の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、繰延税金資産の一部4,958百万円の取崩しを行い、同額を法人税等調整額に計上いたしました。

3. 業績予想について

2023年3月期通期連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	1,100,000	△20,000	△20,000	△25,000	△216.39
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (2022年3月期)	1,045,086	12,090	14,490	1,990	17.23

2023年3月期の連結業績予想につきましては、石炭をはじめとする原燃料価格の動向などが不透明な状況下で、当社グループへの影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、第1四半期の実績を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき、公表することといたしました。

世界情勢の激変に伴い、石炭をはじめとする原燃料価格や物流経費は高止まりし、加えて円安がこれらに拍車をかける状況となっています。こうした未曾有の状況は、当期末まで継続するものと見込んでおります。

このようなかつてない厳しい状況を受け、石炭使用量の削減や各種製品の更なる価格修正について、当第1四半期からすでに取り組みを開始しており、当期中に効果を発現させてまいります。当社グループは、「中期経営計画 2025」の達成に向けて、「石炭使用量削減の加速」、「洋紙事業の構造改革」、「Opalの収益改善」を重点課題として当期取り組んでまいります。

4. 配当予想について

2023年3月期配当予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想	—	—	—	—	—
今 回 予 想	—	0.00	—	0.00	0.00
当 期 実 績	—	—	—	—	—
前 期 実 績 (2022年3月期)	—	10.00	—	30.00	40.00

当社は、グループの業績状況や内部留保の充実等を総合的に勘案した上で、可能な限り安定した配当を継続して実施することを基本方針としております。

2023年3月期の配当予想につきましては、連結業績予想を未定としたことから同じく未定としておりましたが、2023年3月期の連結業績予想を踏まえ、手元流動性の確保と財務基盤の健全化を図ることが最優先であると判断し、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫びを申し上げますとともに、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の予想につきましては現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上